



相場情報 《今後価格動向要注意商品》

区分	商品	相場動向	相場状況
食品	ヤングコーン	タイ産現地工場により不作。メーカーにより新物まで休売。	→
食品	中国フルーツ缶	黄桃・白桃ともに新物入荷。	→
食品	中国うずら缶	極品薄継続。	→
食品	中国産みかん缶	メーカーにより新物まで極品薄、新規回避が無難。	→
食品	麻竹	#1、5G缶とともにメーカー各社入荷し在庫安定。	→
冷食	輸入凍菜品全般	為替円安の動きに合わせ輸入各社価格改定を検討。23年早々に再度の価格改定実施が濃厚。 US品…アメリカ国内インフレの影響で値上幅大きい EU品…熱波、ウクライナ紛争の影響で燃料費が高騰し工場稼働が落ち輸入が遅れるとの情報あり	↑
冷食	輸入豚肉・牛肉	9月決算期のため処分玉散見で弱含みも根本的な状況に変動はない。 ただし倉庫のキャパシティが埋まっており、出荷を促したい状況は継続。	↓
冷食	国産ポテト品	ホクレンを中心とする国産ポテト品は新物切替えを前にタイトな状況が続いており新規の販売不可。 また割り当て販売のため既存得意先へ数量を限定しての販売が続く。	↑
冷食	USポテト品	為替、アメリカ国内でのインフレ、原料の歩留まりダウンの影響でUS品値上げ。上げ幅は大きい。	↑
冷食	カキ粒	今期品薄。特に小型のM粒は欠品見込み。欠品後は宮城県など他産地で代替。	→
特販	国産馬鈴薯澱粉	令和4年産への端境で品薄状況。3年産から4年産への繰越は発生せず。 馬鈴薯の収穫状況によっては新物の品薄→価格上昇が予想される。	↑
特販	輸入加工デンプン	海上運賃、為替影響により値上がり。 穀物の世界的な品薄状況により、馬鈴薯、タピオカ、サゴなど原料を問わず値上がり。	↑
特販	小麦粉	2022年10月期の政府売渡価格は4月期の価格を適用するとの公表がなされた為、据え置き。	→
酒	全般(飲用・調味料)	原料アルコール、糖類の値上がり、円安を要因とする製品値上げ。	↑
NF	割箸	為替の影響が大きく、大幅に値上げ。	↑
NF	紙製品全般	原料パルプの高騰、燃料費・包材の値上がり、物流費の高騰を要因とする製品値上がり。	↑